

高知県教育委員会

【総人口】 664,445人（R6.1月）

【自治体 関連URL】 <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311601/>

【主担当部局】高知県教育委員会事務局幼保支援課
（幼児教育担当）

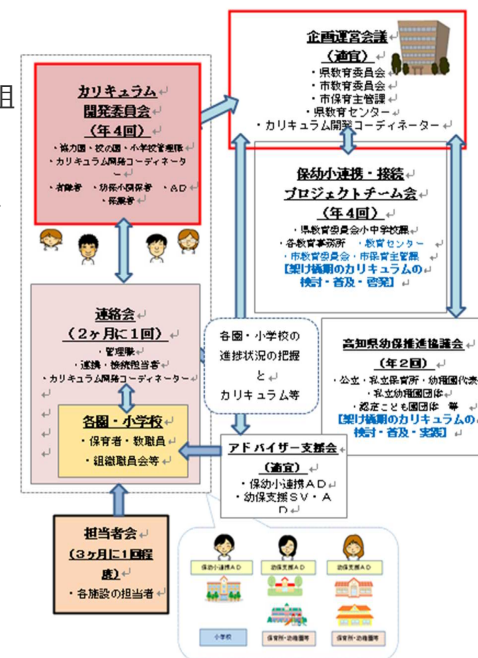
【主な関係部局】高知市教育委員会学校教育課
（就学前教育班）
高知市こども未来部保育幼稚園課
（保育所・認定こども園担当）

	幼稚園			保育所		幼保連携型 地域裁量型		小学校		
	国立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	国立	公立	私立
施設数	1	7	23	114	106	11	11	1	180	2
園児・ 児童数	64	296	2,027	6,724	8,394	796	1,164	633	29,769	412

事業実施地域・ 協力園校	【実施地域】 高知市 春野東小学校区	
	【協力園校】 幼：公立保育所２園、私立保育所１園、幼保連携型認定こども園１園、幼稚園型認定こども園１園 小：公立小学校１校	
架け橋期の カリキュラム開発 会議	【会議委員人数】 15名	【開催数】 計 ４回
	【委員属性】 公立保育園長２名、私立保育園長１名、私立幼保連携型認定こども園長１名、私立幼稚園型認定こども園長１名、公立小学校長１名、市教育委員会１名、市保育幼稚園課１名、県教育センター１名、大学教授３名、県幼保支援アドバイザー１名、県保幼小連携アドバイザー１名、小学校区保護者代表１名	

架け橋期の コーディネーター 等	【配置人数】 1名	架け橋期の カリキュラム	【開発主体】 春野東小学校区（２公立保育園、１私立保育園、１幼保連携型認定こども園、１幼稚園型認定こども園、１公立小学校）
	【経歴】 ・現 大学教授（幼児保育学科）、学長 ・元 県教育委員会 幼保支援課 専門企画員		

	成果	課題
園・校	・小学校と幼児教育施設、幼児教育施設間のつながりが強化された。 ・互いの教育内容の理解を通したカリキュラムが作成され、実践されている。 ・保育者や教員に子供観や保育観、指導観の変化があり、実践の変化へとつながっている。・実践の変化が子供の主体性のさらなる発揮へとつながってきている。 ・組織的に架け橋プログラムの取組を進めたことで同僚性が育まれている。 ・コミュニティスクールの取組と連携し、地域全体で子どもの育ちをつなぐ取組となってきた。	・職員の異動に左右されない取組の継続、深化。 ・組織的な取組による架け橋期の前後の保育、教育のさらなる充実。
自治体	・県と市が連携して架け橋プログラムのモデルを示すことができた。 ・協力園・校の取組をもとに県内の架け橋期の教育の充実に向けた機運が醸成された。 (研修依頼の増加、5歳児園内研修への小学校教員の参加の増加 等)	・架け橋期のコーディネーターの育成 ・県全域での架け橋プログラムの取組の充実



高知県教育委員会

・架け橋期のカリキュラムの開発に当たって、幼保小の関係者で大事にした視点

①カリキュラム作成にあたって、協力園・校の校区でめざす子供像を作成

現状の子供の良さや課題をもとに、めざす子供像を作成し、育成したい資質・能力を校区の実践者の声をもとにまとめた。

②幼小のカリキュラムにおける共通の視点（項目）の作成

互いの教育がつながっていることを可視化するための視点を検討し、「めざす子供の姿」「予想される活動」「指導上の配慮事項（保育者や教員の関わり、環境構成）」「家庭や地域との連携」「行事等」に設定。

③遊びや学びのプロセスで大切にしたい経験を「探究」をキーワードに幼小ごとに整理

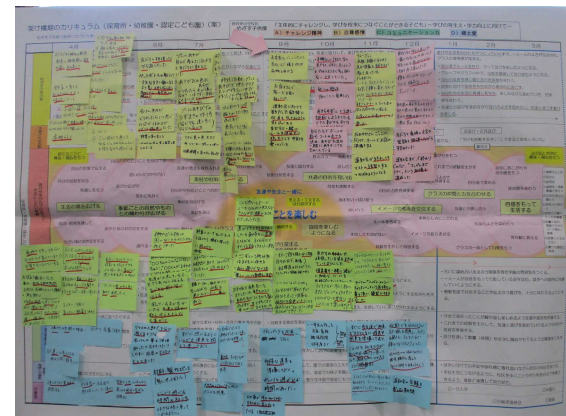
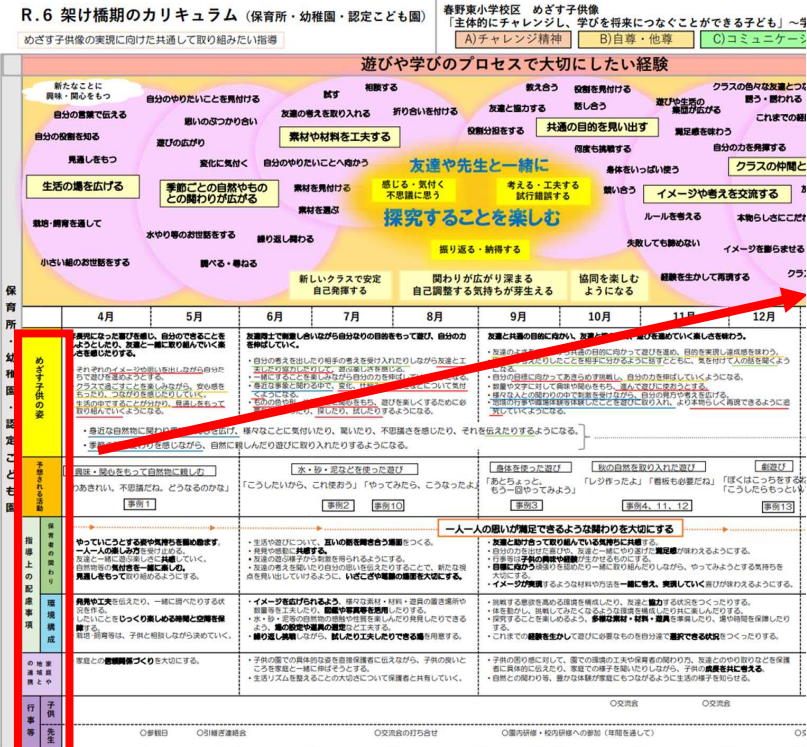
協力園・校の校区には、幼児教育施設が5園あったため、各施設の5歳児の年間指導計画の中で共通する経験や内容をもとに作成。

④子供の姿をもとにカリキュラムの有効性を検討

保育者にとって小学校側のカリキュラムが、小学校教員にとって幼児教育施設側のカリキュラムが分かりやすいものとなっているかを大切に、カリキュラムの実践を通して、常に見直しを行ってきた。その際、公開保育・公開授業や連絡会を通して、遊びや学びの中の子供の具体的な姿（事例の作成）や、そこで育まれた資質・能力で振り返ってきた。

・架け橋期のカリキュラムが完成するまでの協議内容・プロセス

- 上記の①～④の①②③について、カリキュラム開発委員会で議論を重ね、1年目にカリキュラムを作成。
- 2年目以降は、④を定期的に実施。子供の姿でカリキュラムを振り返ることで、カリキュラムと実践がかけ離れたものとならず、常に実践をもとに加筆・修正を加えることができた。
- 実践者の声をもとにカリキュラムを修正するにあたっては、カリキュラム開発委員会の中で、架け橋期のコーディネーターや県のアドバイザーからの助言を受けながら行った。開発委員会の委員には各施設の施設長もあり、実践をもとに議論が深まった。



幼稚園・認定こども園	めざす子供の姿
	予想される活動
	指導上の配慮事項
	環境構成
家庭や地域との連携	保育者の関わり
	行事等
子供	子供
	先生

高知県教育委員会

・架け橋期のカリキュラムの内容・ポイント・活用の仕方

R.6 架け橋期のカリキュラム（保育所・幼稚園・認定こども園）

めざす子供の実現に向けた共通して取り組みたい指導

春野東小学校区 めざす子供像

「主体的にチャレンジし、学びを将来につなぐことができる子ども」～学びの芽生え・学力向上に向けて～

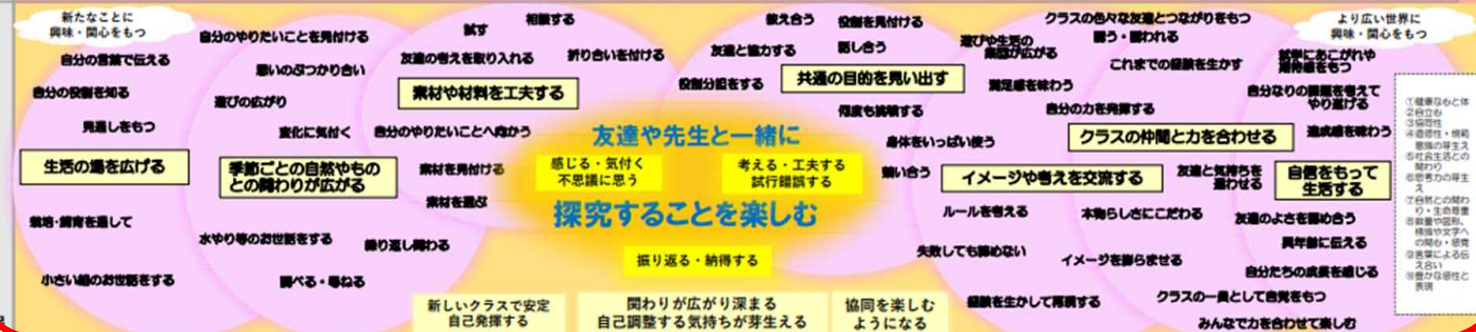
A) チャレンジ精神

B) 自尊・他尊

C) コミュニケーション力

D) 郷土愛

遊びや学びのプロセスで大切にしたい経験



協力園の5園では、校区内で大切にしたいことを記した、共通のカリキュラムとして活用。こちらのカリキュラムにある遊びや学びのプロセスで大切にしたい経験を、自園の5歳児の年間指導計画のねらいや内容に反映し、日々の実践の計画や振り返りに生かしている。

年間を4期に分け、めざす子供の姿を示し、この頃の子供の姿の目安として活用。短期の指導計画を作成するにあたって参考になっている。また、子供の姿を色で分類し、めざす子供像の4つの視点とも関連させて実践の中に落とし込んでいる。

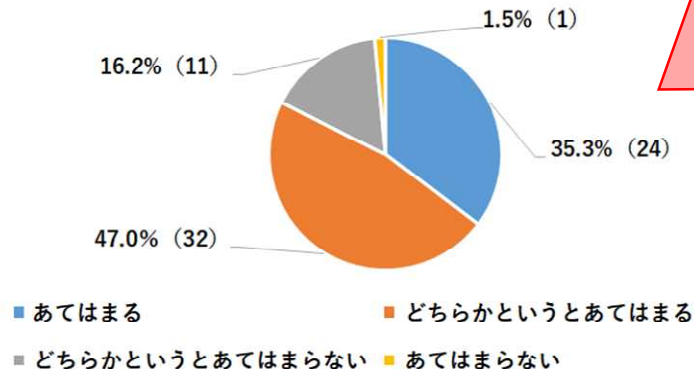
年間を4期に分け、この頃に共通する、援助や環境構成を例示。短期の指導計画を作成するにあたって参考になっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
めざす子供の姿	年長児に合った遊びを選び、自分の得意なことをしようとし、友達と一緒に楽しみながら得意さを表現したりする。 ・それぞれのイメージや思いを出しながら自分たちで遊びを進めようとする。 ・クラスで過ごすことを楽しみながら、安心感をもち、つながりを感じたりしていく。 ・また、中々することが分り、見通しを立てて取り組んでいくようになる。 ・身近な自然物に関わり興味や関心を広げ、様々なことに気付いたり、驚いたり、不思議さを感じたり、それを伝えたりできるようにする。 ・季節の移り変わりを感じながら、自然に親しんだり遊びに取り入れたいようにする。	友達と力を合わせながら自分たちの得意な遊びや、自分の力を発揮していく。 ・自分の得意を出したり相手の得意を受け入れたりしながら友達と工夫を凝らす遊びをする。 ・一緒に遊ぶことを楽しみながら自分の力を伸ばしていくようになる。 ・身近な事象と関わりながら、変化、仕組み、法則などについて気付くようになる。 ・ものの色や形、性質などに興味を持ち、遊びを楽しむために必要な物を作ったり、使ったり、試したりするようになる。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	友達と力を合わせながら、友達と力を合わせて、遊びを進めていく楽しさを味わう。 ・友達との力を合わせながら、自分の得意な遊びを進め、自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。
指導上の配慮事項	・やってみようとする意欲や気持ちを高める。 ・一人一人の得意な遊びを伸ばす。 ・友達と一緒に遊ぶ楽しさを伝える。 ・自然物等の発見や発見を一緒に楽しむ。 ・見通しを立てて取り組めるようになる。	・生活や遊びについて、互いの得意な遊びや得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。	・友達と力を合わせて取り組んでいる得意な遊びを伝える。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。 ・自分の得意な遊びを進めようとする。
環境構成	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。	・肉体的・精神的な成長を促すような状況を作る。 ・したいことをじっくり楽しむ時間と空間を確保する。 ・教室・廊下等は、子供と相談しながら決めていく。
家庭との連携	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。	・家庭での遊びや学びの姿を伝える。
行事等	○春祭り	○引越ぎ運動会	○交流会の打ち合わせ	○交流会	○交流会	○交流会	○交流会	○交流会	○交流会	○交流会	○交流会	○交流会

高知県教育委員会

・架け橋期のカリキュラムを園・校で実践したことによる先生方の指導の工夫や子供の姿の変化

園や小学校において、架け橋プログラムに取り組むことで自身の保育や授業に対する考え方や方法に変化がありましたか。



★ポイント

- ・子どもの思いを大切にする
⇒子どもの声を保育や授業に生かす
- ・子どもの主体性を大切にする
⇒自己決定・自己選択の場
⇒子どもの経験を生かす
- ・より豊かな体験を大切にする
⇒幼児教育は小学校教育を見通して
⇒小学校は幼児期の経験を生かして
- ・保育者や教師は遊びや学びの伴走者
⇒安心して遊んだり、学んだりできる環境づくりを大切に

幼児期の豊かな体験がベースとなって自ら学びに向かう1年生の姿がたくさんあります



保育者・小学校教員の意識の変化（協力園・校68名が回答）

小学校生活科「きれいにさいてね」



★植えたい花を選んだ後は、どう植えるかも自分たちで考えています。園芸用の土を選ぶ子もいれば、畑の土は栄養があることを知っている子がそれを生かして、花壇から土を入れる子もいます。植える花も、育てからも自分で決めるからこそ学びに責任が生まれます。

幼児教育施設の変容

これまでは、プランターで植物を育てていた

小学校の授業を知って、幼児教育でさらに豊かな体験ができるよう、次年度の植物との関わりについて、園で相談し実践できるようにした。

R5年度



R6年度



畑作りから始め、子ども達が育てたい野菜を育てることにした

